

いのちとことば

— 短歌の中の生老病死 —

もともと人間の生命が流れている原初的な調べを、古代ギリシャ人はムジケーと呼び、それが二つに分かれて、一つは今日でいう音楽、そして広義の芸術を意味するようになり、他方は散文精神となり科学へとつながってきたのです。そのような生命の流れを古代日本人は和歌に掬い取り、日本人独特のメンタリティを生み出しました。文学も芸術もいのちへの讃歌であり、祈り。この講座は、ことばの本来の働きからのいのちのありよう、生老病死の情景を照らし出してみようとする試みです。短歌の世界をリードする講師陣の「いのちとことば」をこころゆくまで味わっていただきたいと思います。

講義概要	
曜 日	木曜日
時 間	15:00~16:30
定 員	50名
会 場	駿河台キャンパス
回 数	14回
受 講 料	一般:32,000円 学生:16,000円
教 材	レジュメ資料
ポ イ ン ト	★★

日 程	内 容	講 師	日 程	内 容	講 師
1 5/14(木)	「いのちとことば」	金山	8 10/1(木)	「竹山広の原子爆弾体験」	島内
2 5/21(木)	「親和を求める命と言葉—若山牧水の文学」	伊藤	9 10/8(木)	「斎藤茂吉の歌から」	花山
3 6/4(木)	「塚本邦雄の短歌の生老病死」	塚本	10 10/22(木)	「竹山広の死生観」	晋樹
4 6/11(木)	「前登志夫・風景を生きる/言葉を生きる」	日高	11 10/29(木)	「釈道空の大阪めぐね」	池田
5 6/25(木)	「高野公彦にみる生と死」	桑原	12 11/12(木)	「今たどる西行という生き方」	小黒
6 7/2(木)	「与謝野晶子における生と死」	今野	13 11/19(木)	「河野裕子からのメッセージ」	栗木
7 7/16(木)	鼎談	伊藤 日高 桑原	14 12/3(木)	鼎談	晋樹 池田 小黒

講師紹介



金山 秋男

コーディネーター
 明治大学法学部教授
 明治大学死生学基層文化研究所代表



桑原 正紀

歌人
 歌誌「コスモス」選者・編集委員
 『火の陰翳』『一天紺』『妻へ。千年待たむ』『棄老病棟』(短歌研究賞)、評論集『歌の光芒』など。



晋樹 隆彦

歌人、歌誌「心の花」選歌委員
 ながらみ書房社主
 『短歌往来』編集長
 『感傷賦』『秘鑰』『浸蝕』(若山牧水賞)など。歌書『歌人片影』『インタビュー現代短歌』



伊藤 一彦

歌人、若山牧水記念文学館長
 現代歌人協会理事
 歌誌「心の花」選者委員
 『微笑の空』(遼空賞)『月の夜声』(斎藤茂吉短歌文学賞)『待ち時間』(小野市詩歌文学賞)など。



今野 寿美

歌人
 『りとむ』編集人
 宮中歌会始選者
 『午後の章』(角川短歌賞受賞)『世紀末の桃』(現代短歌女流賞)『さくらのゆゑ』など。歌書『歌がたみ』など。



池田 はるみ

歌人
 歌誌「未来」選者・編集委員
 NHK学園「短歌友の会」選者
 『疵が国・大阪』(ながらみ現代短歌賞・現代歌人集会賞)『カーゼ』(河野愛子賞)『南無晩ごはん』など。



塚本 青史

小説家
 短歌結社誌『玲瓏』発行人
 小説『娼帝』(歴史時代作家クラブ作品賞)『サテライト三国志』(野村胡堂文学賞)『わが父塚本邦雄』など。



島内 景二

歌人
 電気通信大学教授
 国文学者(物語文学・和歌・短歌専攻)
 著書『塚本邦雄』『源氏物語の影響史』『文豪の古典力』『心訳 鳥の空音』など。歌集『夢の遺伝子』



小黒 世茂

歌人
 歌誌『玲瓏』編集委員
 『隠国』(歌壇賞)『隠国』『猿女』(日本歌人クラブ近畿ブロック優良歌集賞)『やつとことつこ』ほか。



日高 堯子

歌人
 歌誌「かりん」選歌委員
 『樹雨』(日本歌人クラブ賞・河野愛子賞)『芙蓉と葛と』(短歌研究賞)『睡蓮記』(若山牧水賞)など。



花山 多佳子

歌人
 歌誌「塔」選者
 『空合』(河野愛子賞)『木香薔薇』(斎藤茂吉短歌文学賞)『胡瓜草』(小野市詩歌文学賞)など。



栗木 京子

歌人
 現代歌人協会理事
 歌誌「塔」選者
 『けむり水晶』(遼空賞・芸術選奨文部科学大臣賞)『水仙の章』(斎藤茂吉短歌文学賞・前川佐美賞)など。